



翠嵐会
令和6年度役員会
定時総会議案書（案）

日時 令和6年5月3日（金・祝）

神奈川県立横浜翠嵐高等学校同窓会

翠嵐会

第1版 20240426v8

翠嵐会 令和6年度
定時総会議案書（案）

日時 令和5年5月18日（土）

1 会長ご挨拶

2 議案

【報告事項】

令和5年度活動報告

【決議事項】

第1号議案 令和5年度決算および監査報告について

第2号議案 令和6年度事業計画および予算について

3 執行部の体制紹介

ご挨拶

ようやく昨年新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、普段の生活に戻り始めました。この間、皆様方におかれましては感染による健康被害や仕事・生活に制限が課せられ、大変なご苦勞をされてきたことと察します。

翠嵐会は会員同士の親睦向上を図ることを目的としています。感染のリスクを負ってまで開催するべきではないとの判断からこの間に人が集まる行事はほぼ中止しましたが、昨年度は例年通り総会・講演会・懇親会、翠嵐会美術展を開催、神奈川校歌祭への参加をいたしました。

役員会は、翠嵐会役員（会長、副会長、会計、会計監査、顧問、各回若干名ずつ選出されている理事）の皆様にお集まりいただき、事業計画・予算・その他翠嵐会運営に関する審議を行い、議決に参加していただく大変重要な会議です。本年度の決議事項は、令和5年度決算、令和6年度事業計画・予算案になります。役員会で議決した事案は、総会に諮りご承認いただきます。

本年度も昨年同様、総会に諮る議案書（案）を期間限定で翠嵐会ホームページからダウンロードして閲覧できるようにし、ホームページからご意見と賛否の意思を確認する方法と併用することにしました。

役員の皆様には期間内にホームページより承認・非承認、ご意見をお寄せください。役員会当日にご参加出来ない方々のご意見も幅広く伺えるようになると考えております。

コロナ禍により人と会わずともオンラインで作業が出来、効率化が図れるようになりましたが、人と人とが触れ合っこそ、心のコミュニケーション、意思疎通が図れることもあります。

本年度は通常の活動になります。皆さまのご支援ご理解をよろしくお願いいたします。

< 報告事項 >

令和 5 年度活動報告

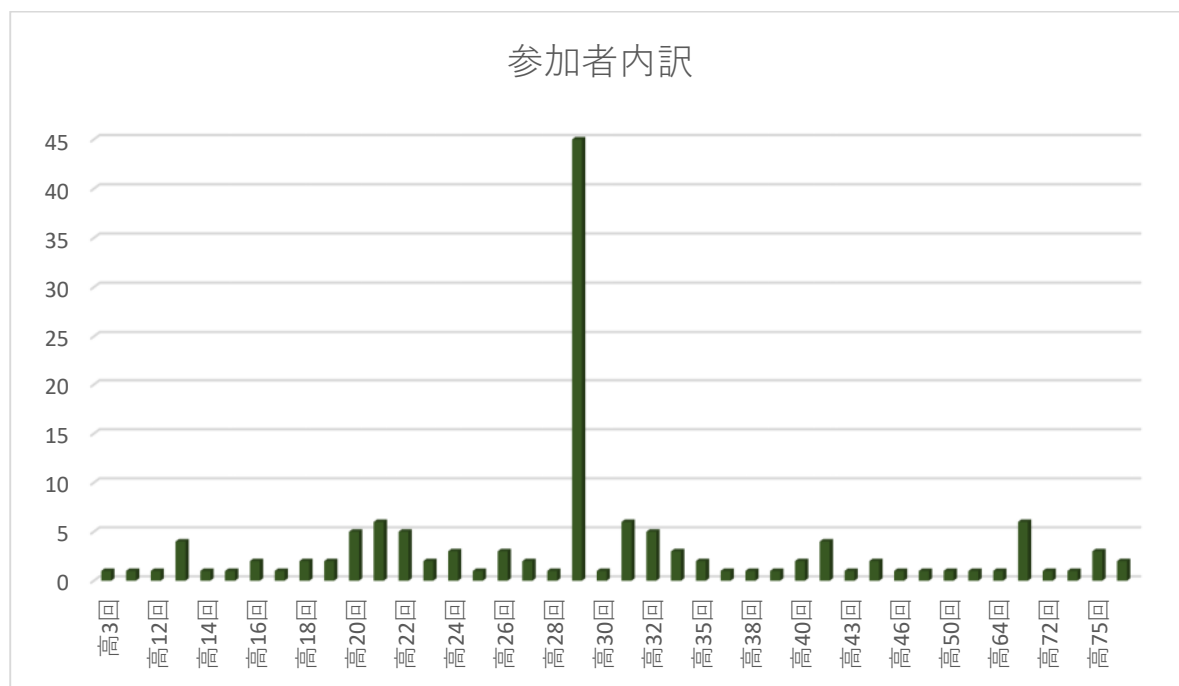
1. 定時総会・特別講演会・懇親会

2023 年 5 月 20 日(土)に令和 5 年度の翠嵐会総会・講演会・懇親会を崎陽軒本店にて開催した。総会は年一回会員全員を招集し、議案に従って提示し、承認を得る大変重要な会であり、会則上も「会計年度終了後 3 ヶ月以内に定時総会を開く」と規定されている。開催前 2023 年 5 月 13 日から 19 日の 7 日間期間限定で、翠嵐会ホームページ上に議案書の令和 4 年度の事業報告・決算、役員改選、令和 5 年度事業計画・予算案を提示し、確認、承認を得る投票を実施した。

参加者（出席者とみなす）数、承認・非承認結果は以下の通りで、総会において令和 4 年度の事業報告・決算、役員改選、令和 5 年度事業計画・予算は承認された。

議案	採決	結果
決算	承認	136名
	非承認	0名
	承認率	100%
役員改選	承認	135名
	非承認	1名
	承認率	99%
事業計画	承認	136名
	非承認	0名
	承認率	100%

出席者の内訳					
高3回	1名	高24回	3名	高40回	2名
高10回	1名	高25回	1名	高42回	4名
高12回	1名	高26回	3名	高43回	1名
高13回	4名	高27回	2名	高45回	2名
高14回	1名	高28回	1名	高46回	1名
高15回	1名	高29回	45名	高48回	1名
高16回	2名	高30回	1名	高50回	1名
高17回	1名	高31回	6名	高52回	1名
高18回	2名	高32回	5名	高64回	1名
高19回	2名	高33回	3名	高71回	6名
高20回	5名	高35回	2名	高72回	1名
高21回	6名	高37回	1名	高74回	1名
高22回	5名	高38回	1名	高75回	3名
高23回	2名	高39回	1名	準会員	2名
総参加者数136名（内、WEB投票者95名）					



2. 翠嵐支援基金の状況

翠嵐支援基金は母校や生徒の教育・文化・スポーツ活動を支援することを目的として平成27年5月設立した。会員相互の親睦を目的とする一般会計とは分離し、寄付により運営している。

令和5年度は創立100周年記念誌・記念演奏会CD返礼分を含む75件で、寄付総額は186.8万円となった。

当年度は、翠翔祭、体育祭、新聞委員会、国際交流活動への補助は行わなかったが、全日制、定時制生徒の対外活動での活躍を横断幕(9枚総額 6.5万円)でお祝いした。

また、卒業記念品としてクリアファイル、定時制卒業証書入れ(総額 8.7万円)を贈呈した。

<音楽委員会事業>

3. 第 18 回青春かながわ校歌祭

□ 「第 18 回青春かながわ校歌祭」が 4 年ぶりに通常の形式で開催され、翠嵐会は台風直撃で直前に中止となった 14 回以来 5 年ぶりにそのステージに立った。翠嵐会が欠席した令和 4 年の第 17 回はコロナ前の半数 14 校のみの参加だったが、第 18 回はコロナ前状況に戻り 26 校の参加で盛大に開催された。

4 月から 10 月にかけて 5 回の実行委員会を行い、9 月 10 月に 3 回の練習会を開催して校歌祭に臨んだ。久々の練習だったが、熊坂さん（高 12 回）の軽妙な指導で以前と変わらない雰囲気練習会は行われた。在校生の音楽部の生徒たちは校歌祭参加経験のある先輩たちが 2 年前に卒業しており、「校歌祭参加」の継承が途切れており、手探りで参加だった。しかし、本番では学校紹介、曲名コールを立派に務めた。

閉会後は桜木町のイタリアンダイニング「ザ・サウス」において 50 名の参加で打ち上げを行い、加藤校長も駆けつけていただいた。

第 1 回実行委員会の直前に実行委員の心の支えだった高 18 回応援団長長谷川均さんが亡くなられ、第 1 回練習会において高 20 回応援団長藤田敬さんのリードで追悼エールを送った。

- 日時：令和 5 年 10 月 21 日（土）
- 会場：県立青少年センター
- 担当：県立鶴見高校 鶴陵会
- 主催：かながわ校歌振興会／第 18 回青春かながわ校歌祭実行委員会
- 共催：神奈川県教育委員会

4. 翠嵐・音フェス 109

□ 「翠嵐・音フェス 109」は中止した。

コロナ禍により中止している「翠嵐・音フェス」（おとふえす）は 105 を最後に 4 年連続して中止した。

卒業生の縦・横のコミュニケーションの活性化を「音フェス」の大きな目標としている。1 年前からホールの予約を始め、企画を検討しており、その準備段階から世代間の交流を深めていた。しかし、4 年にわたる中止により高齢化が進む一方若年層では学生が就職し、と実行委員会の体制は崩壊し、未だに立て直しが出来ておらず、中止とした。

<美術委員会事業>

5. 第 48 回翠嵐会美術展の開催

□ 会期：令和 5 年 10 月 24 日（火）～ 10 月 29 日（日）

10:00～18:00（最終日は 15:00 まで）

□ 会場：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA（前回と同じ）

□ 出品作品：油彩画・水彩画・水墨画・版画・彫刻・書・写真・工芸 etc.

□ 出品者：同窓生 66 名・79 点（在校生 24 名+2 グループ及び教員 1 名・35 点・・・写真部、美術部、書道部、漫画研究部）

□ 来場者：467 名

□ 実行委員会：第 1 回 6 月 11 日(火)、第 2 回 9 月 10 日(火)、第 3 回 11 月 12 日(火)

<特記事項>

(1) コロナ禍の終息により令和元年以来 5 年ぶりに本来の翠嵐会美術展が戻り、同窓生から 66

名、79点の力作が出品された。今回は、特に、校内幹事の先生方の呼びかけにより、在校生の積極的な協力をいただき、写真部、美術部、書道部、漫画研究部の24名+2グループさらに先生の参加もいただき、若い感性が美術展をさらに盛り上げてくれた。

- (2) また、今回は久しぶりに初日に「オープニング・パーティー」を開催し、出品者同志の交流を深めることができた。来年は、従来のように出品者以外の同窓生にも参加の枠を広げて旧交を温められる場づくりをしたい。

<翠嵐会報編集委員会事業>

6. 翠嵐会報第37号発行

□発行日：令和5年10月1日(日)

□発行部数：約2万部

5年度の翠嵐会総会・講演会・懇親会の実施報告と6年度の予告、美術展の4年度の報告と5年度の予告、4年度の田奈部隊学徒勤労動員生徒殉難者の慰霊訪問報告と5年度予告、MOMI銘板設置と桜木銘板移設計画の説明、翠平戦の準備状況の説明、在校生の活躍、母校職員の異動のお知らせなどを掲載した。

なお、発行後に誤植が複数箇所見付き、ホームページでのお詫びと訂正や在校生向けに一部差し替え印刷を行った。

<総務・企画委員会事業>

7. 鈴木孝庸氏・平曲の会

高校18回卒業、元本校教諭で、現在新潟大学名誉教授の鈴木孝庸氏による「平曲の会」を共催した。卒業生を中心に現役生徒や保護者など、約80名の聴衆がその演奏を堪能した。

□主催：翠嵐高校(国語科)

□共催：翠嵐会

□開催日：令和5年10月26日(土)14:00~16:30

□場所：翠翔みらい館

□対象：翠嵐会員、本校生徒・保護者

□出演：鈴木 孝庸氏(新潟大学名誉教授、日本文学研究者、橋本流平曲奏者)、
荒井今日子氏(鈴木孝庸門下)

□演目：「祇園精舎」鈴木氏、「忠度都落」荒井氏、「木曾最期」鈴木氏、「宇治川」より 鈴木氏、
荒井氏のつれ平家(二人で演奏)

□参加費：無料

8. 翠嵐会報広告

令和5年10月に発行した翠嵐会報37号には翠嵐卒業生による10社の広告を載せた。

1ページ(全面)： 0社

1/2ページ： 4社

1/4ページ： 5社

1/10ページ： 1社

◆目的は卒業生が運営する企業や団体を翠嵐会員に広報することであるが、41万円の収入となった。

9. 田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者現地慰霊

田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者の命日の前に現地にて慰霊を行った。

□ 開催日時：令和5年11月25日（土）10：00～

母校校長、副校長、教頭、翠嵐卒教諭1名、翠嵐会会長、副会長1名、会計監査1名、翠嵐高校卒業生1名で田奈の遭難現地を慰霊訪問した。

10. 六本の桜木の維持管理

桜木の移植が完了したが、永年日照不足で生育が悪いため、移植を行ったサカタのタネグリーンサービスに、診断、剪定、雑草取り、肥料等土壌の維持管理を2023年7月14日、10月18日に実施した。桜木は健康に育っている。

11. 分野別職業講話講師派遣

母校（全日制）ではキャリア教育の一環として、1・2年生を対象に対面で「分野別職業講話」を令和6年3月16日（土）に実施した。今年度は翠嵐卒業生12名が講師となった。

生徒は前半・後半と2人の講話を聴いた。講師の職種は多岐にわたり、その職業に就いた経緯や現在の仕事、また、高校時代の思い出を語るなどして、生徒の進路を考えさせる一助となった。

12. キャリア講師情報の収集と共有

生徒のキャリア教育を支援するため、翠嵐高校と翠嵐会で協定して、キャリア講師に適した卒業生の情報収集と共有を図るシステムを構築し、運用を始めた。翠嵐会ホームページに情報収集機能を設け、翠嵐高校とも共有できる。広い視野と多様性を育む教育に供する。

13. 収支バランス

翠嵐支援基金の設立、卒業時一年以内の終身会費優遇制度の導入、翠嵐会報広告掲載事業などの改革を続けた結果、平成30年度に翠嵐支援基金を含む総収支バランスがプラスになり以降黒字に転じている。本年度は一般会計収入が67.3万円減収となったが、翠嵐支援基金寄付が72.3万円プラスとなったことから、全体として昨年度比で5万円の増収になった。翠嵐会は収益団体ではないが、会員相互親睦と、学校や生徒を支援するために必要な費用を会員の皆様にお願する。

<コミュニケーション委員会事業>

14. 翠嵐会公式ホームページの運用

翠嵐会ホームページはスマートホン、タブレットにも対応し、翠嵐会の公式な情報発信メディアとして定着した。イベント情報、同期会、各クラブOB・OG活動に関する情報、その他翠嵐会に関わる全ての公式情報を公開している。母校生徒、卒業生の活躍記事なども掲載している。

また、各種申し込み、意見投稿や、事務局への問い合わせ、住所や氏名の変更届など受け付けている。

当委員会は会運営にとって極めて重要な情報インフラであるホームページの運用を日々行っている。

役員会、総会に出席出来ない方のために、承認プロセスをホームページ上に期間限定で公開し、議案書に沿って議案を承認する仕組みを実現するシステムを急遽当委員会で構築し、運用している。

URL: <https://suirankai.jp>

15. 翠嵐歴史資料検索システム

アーカイブス整備委員会で進めている翠嵐歴史資料検索システムが出来上がった。運用にむけ準備を進めている。

<アーカイブス整備委員会事業>

16. 歴史的資料の集約

翠嵐の歴史的資料は校内の複数ヶ所で保管されていたが、学校と協議のうえ応接室に一部を集約・一元管理し、直ぐ取り出すことができ、来客にもご覧頂けるようになった。卒業アルバムなど年度毎に並び替え、閲覧し易くした。

集約した資料の陳列整理と、翠嵐歴史資料検索データベースシステムのテストを含め資料登録を行う準備を進めている。

翠嵐歴史資料検索データベースシステムにより、何処に何がどんな形で、いくつ存在して、誰に貸し出し中であるか分かる状態になる。

最近の歴史資料は紙など形のある物から、pdf 文書、パンフレット、録音、録画と形のない電子ファイルへと変化している。このため、翠嵐が保有するあらゆる資料をデータベース化して管理し、検索してその資料の保管場所に辿り着くシステムを構築している。

17. 歴史資料の展示

資料は応接室に集約されたが、本年度展示については進捗しなかった。

<学校行事関連>

18. 学校運営協議会

学校運営協議会会長は佐藤到前校長、副会長兼キャリア部会長に翠嵐会会長江成正彦が就いた。学校運営協議会には「地域連携部会」「キャリア部会」「探究部会」がある。本年度は以下のように開催された。

第1回学校運営協議会：2023年6月14日(水)

第2回学校運営協議会：2024年1月10日(水)

第3回学校運営協議会：2024年3月27日(水)

19. 体育祭

第75回体育祭：2023年9月13日(水)

通常開催された。小山田副会長が参列した。

20. 卒業式

令和5年度第75回全日制卒業式：令和6年3月5日(火)

卒業者数：346名

体育館耐震工事のため、県立音楽堂にて開催

例年の開催内容に戻った(来賓、保護者の参加あり)

令和5年度第57回定時制卒業式：令和6年3月5日(火)

4年卒業者数：10名

3年卒業者数：14名

体育館耐震工事のため、県立音楽堂にて開催

例年の開催内容に戻った(来賓、保護者の参加あり)

<決議事項>

第1号議案 令和5年度決算および監査報告について

令和5年度 決算

一般会計

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
収入	入会金	1,227,600	1,069,200	▲ 158,400		
	会費	年会費	1,513,000	1,538,000	25,000	
		終身会費	4,950,000	4,410,000	▲ 540,000	
		その他			0	
	雑収入	168	181	13	利子等	
収入合計		7,690,768	7,017,381	▲ 673,387		
支出	運営費等	会報費	3,300,000	3,239,282	△ 60,718	広告収入41万円を控除
		運営費	500,000	481,076	△ 18,924	
		慶弔費	50,000	0	△ 50,000	
		通信費	150,000	125,321	△ 24,679	
		総会費	200,000	199,950	△ 50	
		納入時振込手数料（翠嵐会）	200,000	162,636	△ 37,364	
		備品・雑費	50,000	0	△ 50,000	
		予備費	20,000	0	△ 20,000	
	特別予算	キャリア講師情報収集システム構築	300,000	119,350	△ 180,650	
		MOMI銘板設置と桜木銘板移設	500,000	0	△ 500,000	
		歴史資料データベース構築費	800,000	0	△ 800,000	
		平沼高校交流戦準備費	100,000	0	△ 100,000	
	委員会支出	美術委員会	100,000	100,000	0	
		音楽委員会	120,000	120,000	0	
		コミュニケーション委員会	800,000	800,000	0	
		アーカイブス整備委員会	0	0	0	
	積立金	特別修繕積立金	240,000	240,000	0	
		周年行事積立金	300,000	300,000	0	
	支出合計		7,730,000	5,887,615	△ 1,842,385	
	当期収支差額		▲ 39,232	1,129,766	1,168,998	
前期繰越金		64,325,643	64,325,643	0		
次期繰越金		64,286,411	65,455,409	1,168,998		

積立金

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
特別修繕積立金	収入	一般会計から繰り入れ	240,000	240,000	0	
		利息等	0	15	15	
	活動支出	MOMI再塗装メンテナンス	0	0	0	
		桜木巡回管理	100,000	66,660	△ 33,340	
	収支差額	140,000	173,355	33,355		
	前期繰越金	1,698,075	1,698,075	0		
次期繰越金	1,838,075	1,871,430	33,355			
周年行事積立金	収入	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	
		利息等	0	23	23	
	活動支出	0	0	0		
	収支差額	300,000	300,023	23		
	前期繰越金	2,407,352	2,407,352	0		
	次期繰越金	2,707,352	2,707,375	23		
積立金計	収入	一般会計から繰り入れ	540,000	540,000	0	
		利息等	0	38	38	
	活動支出	100,000	66,660	△ 33,340		
	収支差額	440,000	473,378	33,378		
	前期繰越金	4,105,427	4,105,427	0		
	次期繰越金	4,545,427	4,578,805	33,378		

委員会会計

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考
翠嵐会美術展	一般会計から繰り入れ	100,000	100,000	0	
	活動収入	370,000	340,002	▲ 29,998	預金利息2円を含む
	活動支出	540,000	508,462	△ 31,538	
	収支差額	▲ 70,000	▲ 68,460	1,540	
	前期繰越金	295,916	295,916	0	
	次期繰越金	225,916	227,456	1,540	
校歌祭	一般会計から繰り入れ	120,000	120,000	0	
	活動収入	0	2	2	利子のみ
	活動支出	120,000	90,380	△ 29,620	
	収支差額	0	29,622	29,622	
	前期繰越金	230,708	230,708	0	
	次期繰越金	230,708	260,330	29,622	
翠嵐会音楽会	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	6	6	利子のみ
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	6	6	
	前期繰越金	759,816	759,816	0	
	次期繰越金	759,816	759,822	6	
音フエス	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	2	2	利子のみ
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	2	2	
	前期繰越金	396,744	396,744	0	
	次期繰越金	396,744	396,746	2	
コミュニケーション	一般会計から繰り入れ	800,000	800,000	0	
	活動収入	0	7	7	利子のみ
	活動支出	800,000	529,842	△ 270,158	
	収支差額	0	270,165	270,165	
	前期繰越金	430,439	430,439	0	
	次期繰越金	430,439	700,604	270,165	
アーカイブ整備	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	8	8	利子のみ
	活動支出	100,000	0	△ 100,000	
	収支差額	▲ 100,000	8	100,008	
	前期繰越金	942,991	942,991	0	
	次期繰越金	842,991	942,999	100,008	
委員会計	一般会計から繰り入れ	1,020,000	1,020,000	0	
	活動収入	370,000	340,027	▲ 29,973	
	活動支出	1,560,000	1,128,684	△ 431,316	
	収支差額	▲ 170,000	231,343	401,343	
	前期繰越金	3,056,614	3,056,614	0	
	次期繰越金	2,886,614	3,287,957	401,343	

活動収入には利子を含みます

翠嵐支援基金

単位：円

項目		予算額	決算額	差異	備考	
収入	個人寄付金	1,200,000	1,867,762	667,762	記念誌、CD返礼分を含む75件	
	その他	0	0	0	宴会残金等個人寄付以外	
	利子等	0	90	90		
	収入合計	1,200,000	1,867,852	667,852		
支出	奨励費	文化祭	0	0	0	
		体育祭	0	0	0	
		新聞委員会補助	0	0	0	
		国際交流補助	300,000	0	△ 300,000	
		対外活動費補助	100,000	0	△ 100,000	大会交通費補助
		卒業祝等	200,000	64,741	△ 135,259	クリアファイル・証書入れ
		横断幕等		87,475	87,475	横断幕9枚を含む
				0		
				0		
	運営費	納入時振込手数料	30,000	20,449	△ 9,551	基金振込時
			0	0	0	
					0	
	支出合計		630,000	172,665	△ 457,335	
当期収支差額		570,000	1,695,187	1,125,187		
前期繰越金		10,941,266	10,941,266	0		
次期繰越金		11,511,266	12,636,453	1,125,187		

次期繰越金

単位：円

項目	予算額	決算額	差異	備考
一般会計	64,286,411	65,455,409	1,168,998	
委員会会計	2,886,614	3,287,957	401,343	
積立金	4,545,427	4,578,805	33,378	
翠嵐支援基金	11,511,266	12,636,453	1,125,187	
合計	83,229,718	85,958,624	2,728,906	

令和5年度 翠嵐会
会計監査報告書

令和6年4月13日

横浜翠嵐高等学校同窓会「翠嵐会」

会長 江成正彦様

会計監査 青木 健 ㊞

会計監査 山田 高章 ㊞

横浜翠嵐高等学校同窓会「翠嵐会」の令和5年度（自:令和5年4月1日、
至:令和6年3月31日）における、会計帳簿および収支決算書につきまして、
帳簿並びに関係証票書類に基づき監査の結果、適正に処理されていることを認
めます。

以上

上記は、会計監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は計算書類に添付され翠嵐会事務局が別途保管しております

第2号議案 令和6年度事業計画および予算について

事業計画案

21. 今年度活動方針

□ 継続事業

本年度は総会・講演会・懇親会を予定通り行い、イベント系事業を計画し、翠嵐会報第38号発行する。同時にオンラインで目的が達成できる会合等を併用し効率化を図る。事務業務など組織運営は継続して行う。

□ 新規事業

創立110周年記念事業を支援し、その一環として「翠平戦」を計画し実行する。

□ 重点施策

1. 学校運営協議会制度に関り、社会教育支援を強化する。
2. 翠嵐歴史資料検索システムを立ち上げ運用を開始する。

<翠嵐創立110周年記念事業>

22. 翠嵐創立110周年記念事業

在校生が創立110周年(定時制においては設置60周年)の節目の年に在籍したことを機に、本校創立以来の伝統や歴史を知り、横浜翠嵐高校生徒としての誇りを感じられるようにする。

それを記念して実施する記念事業を実施し、翠嵐会、翠和会、振興会と連携を図りながら、在校生が主体的に参画できるように工夫する。

第一回創立110周年記念事業実行委員会が令和6年3月20日に開催された。

決定事項は以下の通り。

- ・実行委員長：江成（翠嵐会会長）
- ・実行副委員長：加藤（翠嵐高校校長）、上村（翠和会会長）、小山田（翠嵐会副会長）
- ・監査：山田（翠嵐会会計監査）、小俣（翠和会本部書記）、加藤校長が指名する職員

記念事業の概要

■ 記念式典

来賓の招待は可能な限り限定し、式次第も極力簡素化を図って実施する。

実施日は令和6年11月8日(金) みなとみらいホールにて開催。

■ 創立110周年記念誌の制作

創立100周年以降の10年間の本校の記録を記した冊子を作成する。

■ 横浜翠嵐高等学校と横浜平沼高等学校との交流事業の実施（30節にて）

かつて両校生徒が「翠平戦。平翠戦」という名称でスポーツを通じて交流していた。令和6年度には横浜翠嵐高等学校が創立110周年、令和7年度に横浜平沼高等学校が創立125周年を迎えることを記念して、部活動による現役生徒の交流戦を実施する。また、各部のOB組織とも連携してOB戦も行い、それらの試合結果を得点化して両校で勝敗を競う。令和6年から2年間の取組とする。

■ 記念品

- ① 創立110周年を記念し、思い出になる品を生徒に贈る(保護者より)。
- ② 生徒の教育活動に資する校内施設の拡充、物品類の寄贈受ける。(まなびや基金の活用)

例)体育館の椅子の購入、「翠嵐」の整備

・生徒主体の取組

生徒会役員が主体となって、創立 110 周年を盛り上げる企画をよびかけ、創立 110 周年の年を盛り上げるような取組を行う。

例:記念ロゴマークの作成。記念イメージソングの作成(明るくロズさみやすい曲)

作成したロゴマーク:同窓会や保護者組織にもデータ共有。広報活動に活用

■その他(案)

神奈川新聞の特集広告(翠嵐会の協力)令和 6 年 11 月あたりに掲載企業や OB からの広告(記事の下部)の投稿を受ける。校長、生徒会役員、同窓会長等の座談会→記者が記事にして掲載。

□予算

上記創立 110 周年記念事業費用として本年度周年行事積立金より 160 万円を支出する。

<音楽委員会事業>

23. 第 19 回青春かながわ校歌祭

□ 「第 19 回青春かながわ校歌祭」は下記の通り開催が決定し、翠嵐会校歌祭実行委員会を開催して、参加を決定した。

翠嵐会校歌祭実行委員会は第 5 回から 14 年間実行委員長を務めた馬場洋一(高 20 回)がかながわ校歌振興会会長に就任するため辞任し、里見正憲さん(高 24 回)が実行委員長に就任した。

□ 開催概要

- 日時:令和 6 年 9 月 21 日(土)
- 会場:ひらしん平塚芸術文化ホール
- 担当:県立平塚江南高等学校 江南同窓会
- 主催:かながわ校歌振興会/第 19 回青春かながわ校歌祭実行委員会
- 共催:神奈川県教育委員会

24. 翠嵐・音フェス 110

コロナ感染症の「5 類相当」への移行、マスクの「推奨」への移行など制限も緩和され、「音フェス」のイベント開催の可能性は見えてきたが、4 年間の中止で実行委員会の組織再編から開始せねばならず、今年度の開催は不透明。

世代間交流の活性化が緒に就いたところで中止され、若年層(大学生)の状況は一変してしまったのでまた 1 から組み立て直す必要があり、出演参加者の運営参加も視野に再編する必要があり実行委員希望者をホームページ、会報等で募り、希望者が集まれば新たに再開できるのではないかな。

25. 翠嵐会音楽会について

本年度の計画はない。

「翠嵐会音楽会」は「卒業生のプロ音楽家」を支援する目的で開催されてきた。ホールコンサートとなった第 4 回以降は同期が中心となって組織した実行委員会が中心となり、翠嵐会が承認し、支援するという枠組みで、不定期ではあるが 11 回まで実施されてきた。

他事業同様、実施までの過程で卒業生の横・縦の交流が広がり、深まることのできる貴重な機会である。

この貴重な機会を卒業生誰でもが生かすことが出来るような体制は確保したいところだが 10 年以上開催希望者が現れない状況を鑑み、新たな展開を検討する時期に来ている。

26. 音楽委員会の活動方針について

前年度は「第 18 回校歌祭」を除き、他の事業は中止した。コロナ禍によりそれまで積み上げた活動が中断を余儀なくされ、卒業生の世代間交流活性化の「うねり」が止められ、積み上げてきた実行体制が崩壊したことが大きな原因と言える。この「うねり」を再び起こすには事業を始める以上のパワーが必要だが、現在それはないと言える。そのきっかけを待ち、新たな形で再出発の機を待つのが得策と言えるのではないか。校歌祭への参加を継続しつつ、「音楽」に関わる卒業生の力の結集を促していきたい。

<美術委員会事業>

27. 第 49 回翠嵐会美術展の開催

- 会期：令和 6 年 10 月 22 日（火）～ 10 月 27 日（日）
10:00～18:00（最終日は 15:00 まで）
- 会場：FEI ART MUSEUM YOKOHAMA（前回と同じ）
- 出品作品：油彩画・水彩画・水墨画・版画・彫刻・書・写真・工芸 etc.
- 出品者：約 70～80 名（在校生も出品予定）
- 実行委員会：第 1 回 6 月 11 日（火）、第 2 回 9 月 10 日（火）、第 3 回 11 月 12 日（火）

<特記事項>

- (1) 前回は同窓生の出品者は 66 名にとどまったが、若手の同窓生の参加が期待できそうなので、仲間への働きかけにより出品者をさらに広げたい。また、校内幹事の先生方のご協力により、今年も在校生の積極的な出品を期待したい。
- (2) 初日の「オープニング・パーティー」を今年は従来の形に戻し、出品者以外の同窓生にも枠を広げて、同窓生の旧交を温められる場として復活させたい。

<翠嵐会報編集委員会事業>

28. 翠嵐会報第 38 号の発行

- 発行日：令和 6 年 9 月または 10 月頃
- 発行部数：約 2 万部

在校生の活躍、令和 6 年度総会の報告、令和 7 年度総会・講演会・懇親会の案内ほか、母校創立 110 周年記念事業の概要説明、在校生の活躍、翠嵐の歴史を振り返る等の記事を企画して掲載する予定。

なお、引き続きデジタル化の計画について検討を進める。また、誤植等が起きないような対策を講じる。

<総務・企画委員会事業>

29. 翠嵐会報第 38 号の広告募集

翠嵐会報 38 号に掲載する広告を募集する。

一般会計の収益改善と、卒業生が運営する企業や団体を翠嵐会員に広く知っていただくことを目的とする。

該当される方のご協力をお願いします。

30. 翠平戦

2023年8月19日翠嵐高校、平沼高校、翠嵐会、真澄会（平沼高校同窓会）の4者で以下の合意があった。これに沿って実施する。

趣旨：

2020年に東京オリンピック・パラリンピックと男女共学70周年の節目にスポーツ及び文化交流も合わせて行う翠平戦2020の開催を目指していたが、コロナ禍において延期になっていた。今回、翠嵐高校は2024年に創立110周年、平沼高校は2025年に創立125周年を迎えるにあたり、この周年記念事業の一環として両校、両同窓会によるスポーツ・文化事業を行う。

日程：

翠嵐高校の110周年と平沼高校の125周年はそれぞれ2024年度と2025年度になることからこの2年間の間で実施する。

開催内容：

生徒の対戦の日程に合わせて卒業生の対戦も計画し応援を行う。
対戦可能な競技は文化系も含めて考えていく。

名称：

翠嵐平沼スポーツ・文化交流事業（翠平戦）

実施主体：

翠嵐高校、平沼高校、翠嵐会、真澄会

あくまで周年事業の一環として、生徒主体の平翠戦・翠平戦を行い、それに同窓会同志の試合ができるものがあれば、それに合わせて行うという立て付けになる。同窓会が全面的にでるのは適当ではない。

31. 田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者現地慰霊

田奈部隊学徒勤労働員生徒殉難者の現地での慰霊を行う。

日時：令和6年11月23日（土・祝）10時より

場所：現地(横浜市青葉区奈良町833 住吉神社前)

母校生徒会より一年生へ継承行事を行う予定。

32. 六本の桜木の維持管理

桜木の移植が完了したが、永年日照不足で生育が悪いため、移植を行ったサカタのタネグリーンサービスに、診断、剪定、雑草取り、肥料等土壌の維持管理を年3回委託する。

桜木が大きくなり、創立80周年を記念して彫刻家である故田邊光彰(高9回)の作品MOMI（野生稲の発芽-2）に掛からないよう将来に渡って予算を確保し維持管理してゆく。

この巡回管理費用10万円を計上する。

33. MOMI 銘板設置と桜木銘板移設

平成6年(1994)に創立80周年を記念してMOMIを設置、同年、二翠会の方々により六本の桜木植樹と石碑が設置された。その後平成27年(2015)に翠嵐会より六本の桜木を説明する銘板（モニュメント）を立てた。その後、桜木の生育不良から4本を令和元年度(2019)MOMI周辺に移植し、翌令和2年度(2020)に離れてしまった銘板（モニュメント）を移設した。

しかし、MOMIの前に設置した銘板が、故田邊光彰氏(高9回)ご子息の田邊陵光氏からもMOMI

を指すのではないかと誤解される可能性があるとの指摘を受けた。

そこで、MOMI を説明する銘板を新たに設置し、桜木を説明する銘板の位置関係含め再構成する。昨年度計画、実施予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大のため断念し今年度実施する。これについては田邊陵光氏と相談しながら進める。

本年度、銘板移設、設置費用として 50 万円を計上する。

34. 次回以降のMOMI 再塗装メンテナンス

令和 3 年(2021) 11 月下旬から 12 月中旬にかけて MOMI 再塗装メンテナンス工事を実施した。工事後、施工業者、翠嵐高校、翠嵐会で次回以降について協議を行った。MOMI の状態は良好で、施工会社の観点からは「このままの状態でも 2~3 年は塗装の必要はないと思う。塗装してから 10 年近くは耐久性を保てる。再塗装は車と一緒に、なるべく回数を減らした方が、持ちが良い。塗装面が厚くなると剥れ易くなるので再塗装の回数はなるべく減らした方が得策。表面の汚れを柔らかいスポンジの水拭き(又は中性洗剤使用)で落とせば見栄えも良くなるのでそちらをお勧めする。」という見解を得た。そこで次回の再塗装メンテナンスは、5 年後(2029 年 11 月)とする。

35. 学校支援(翠嵐支援基金)

継続して学校の支援を行う。昨今現役生徒の対外活動が活発になってきており、対外活動費補助等、今年度は以下に関する予算を計上する。校内樹木のプレート作成費用を計上する。(40 節にて)

- 国際交流委員会補助費 30 万円
- 対外活動補助費 10 万円
- 校内樹木のプレート作成費 36 万円
- その他卒業祝い等費用 20 万円

36. 本年度(令和 6 年度) 定時総会・講演会・懇親会

定時総会、講演会、懇親会を行う。承認プロセスにホームページ上に期間限定で公開し、議案書に沿って令和 5 年度事業報告・決算報告、令和 6 年度事業計画・予算案の意思確認を併用する。

- 開催日：令和 6 年 5 月 18 日(土)
- 会場：崎陽軒本店(横浜駅東口)
- 総会：
 - 令和 5 年度事業報告・決算報告について
 - 令和 6 年度事業計画・予算案について
- 講演会：
 - 講師 歯科医師 大庭聖子氏(高 48 回)
- 懇親会：卒業生の交流を図る。講演会の講師も出席予定。

37. 鈴木孝庸氏・平曲の会共催

昨年に続き今年も高校 18 回卒業、元本校教諭で、現在新潟大学名誉教授の鈴木孝庸氏による「平曲の会」を共催する。

『平家物語』の中から一つの人物に焦点を当てて、その人物が描かれている章段を何段か語る。

- 主催：翠嵐高校(国語科)
- 共催：翠嵐会
- 開催日：令和 6 年 10 月 26 日(土) 午後(2 時間程度)
- 場所：翠翔みらい館

- 参加資格：翠嵐高校生徒、翠嵐会員及び翠嵐高校、翠嵐会より紹介された方
- 参加費：無料
- 申込方法及び詳細：翠嵐会ホームページにて

38. 来年度（令和7年度）定時総会・講演会・懇親会の開催

定時総会、講演会、懇親会を開催する。

- 開催日：令和7年5月17日(土)または5月24日(土)、
- 会場：崎陽軒本店（横浜駅東口）予定
- 総会：
 - 令和6年度事業報告・決算報告について
 - 役員改選
 - 令和7年度事業計画・予算案について
- 講演会：
 - 未定
- 懇親会：卒業生の交流を図る。講演会の講師も出席の予定。

39. 分野別職業講話講師派遣

翠嵐高校は、今年度も分野別職業講話を令和7年3月に実施を予定している。学校から講師の打診があった場合は、積極的に協力する。

40. 校内樹木のプレート作成

校内には、開校当時から多くの樹木が植栽され、また自然植生も残されている。生物基礎のカリキュラムの中で「植生」の単元があり、春・夏・冬と年3回校舎敷地内を授業中に観察して回り、勉強している。その樹木に、樹木プレートのサイン文から植生の深い理解が出来るようなプレートを付けて、高校周辺や日本の植生についても考えられる人を育てたいと母校理科の先生より要望あった。これを受け、70樹木分のプレートを作成する。本年度この本予算として36万円を計上する。

＜アーカイブス整備委員会事業＞

41. 歴史資料管理システムの運用開始

翠嵐歴史資料検索システムの運用を開始する。歴史資料のデータベース化に着手する。システムは人の運用そのものなので、今後登録者の確保、最適化など課題は出て来るものと想定する。

42. 歴史資料展示

歴史的資料は応接室に集約された。新書棚は上部がガラス扉になっているので、外から確認することができる。その内容物から整理してゆく。また、既に設置済みの応接室内および本館廊下ガラスショーケースと、壁を利用した展示方法を検討してゆく。

＜コミュニケーション委員会事業＞

43. ホームページの運用

ホームページはイベント情報、同期会に関する情報、その他翠嵐会に関わる全ての公式情報を公開している。新型コロナウイルス感染症拡大が続くなか、イベントや行事の変更など適宜対応してゆく。また過去の情報も残し、アーカイブスとしての機能も有している。

また、各種申し込み、意見投稿や、事務局への問い合わせ、住所や氏名の変更届など受け付けている。

当委員会は会運営にとって極めて重要な情報インフラであるホームページの運用を日々行っている。

昨今、サーバーへのサイバー攻撃が増え、巧妙化している。そこで翠嵐会ホームページの情報セキュリティ確保の為に改善の必要性が増している。これらの対策を適宜行っている。

44. コミュニケーション活動

学校行事や翠嵐会のイベントなどを卒業生が「取材」として動くには時間的な問題もあり、困難である。SNS の利用方法・運営体制など総合的に検討し、見直しを継続する。

<学校行事関連>

45. 入学式

令和6年度第79回全日制入学式:令和6年4月9日(火)

入学者数:359名

体育館耐震工事のため、県立音楽堂にて開催

例年の開催内容に戻った(来賓、保護者の参加あり)

令和6年度第61回定時制入学式:令和6年4月9日(火)

入学者数:20名

体育館耐震工事のため、県立音楽堂にて開催

例年の開催内容に戻った(来賓、保護者の参加あり)

46. 学校運営協議会

今年度も学校運営協議会に翠嵐会会長がメンバーとして参加する。

「教育課程・学習指導」「生徒指導・支援」「進路指導・支援」「地域等との協働」「学校管理・学校運営」の視点で協議を行う。

キャリア部会はグローバル人材を育成するため、最新の世界の産業状況、日本における企業の変化を伝える機会を増やす、終身雇用が終わってゆくなど現実を見据えたうえでの将来への希望と可能性などテーマとする。

第2号議案 令和6年度予算案について

令和6年度 予算案

一般会計予算

単位：円

項目		前年度予算額	本年度予算案	増減	備考	
収入	入会金	1,227,600	1,069,200	▲ 158,400		
	会費	年会費	1,513,000	1,538,000	25,000	
		終身会費	4,950,000	4,360,000	▲ 590,000	
		その他	168	181	13	
		雑収入	0	0	0	
収入合計		7,690,768	6,967,381	▲ 723,387		
支出	運営費等	会報費	3,300,000	3,300,000	0	制作費増
		運営費	500,000	500,000	0	
		慶弔費	50,000	50,000	0	
		通信費	150,000	200,000	50,000	
		総会費	200,000	200,000	0	
		納入時振込手数料(翠嵐会)	200,000	200,000	0	
		備品・雑費	50,000	50,000	0	
		予備費	20,000	20,000	0	
	特別予算	キャリア講師情報収集システム構築	300,000	100,000	△ 200,000	
		MOMI銘板設置と桜木銘板移設	500,000	500,000	0	
		歴史資料データベース構築費	800,000	800,000	0	システム構築後期
		平沼高校交流戦準備費	100,000	100,000	0	
	委員会支出	美術委員会	100,000	200,000	100,000	
		音楽委員会	120,000	120,000	0	
		コミュニケーション委員会	800,000	400,000	△ 400,000	
		アーカイブス整備委員会委員会	0	0	0	
	積立金	特別修繕積立金	240,000	240,000	0	MOMI増額+桜木巡回管理
		周年行事積立金	300,000	300,000	0	
	支出合計		7,730,000	7,280,000	△ 450,000	
当期収支差額		▲ 39,232	▲ 312,619	▲ 273,387		
前期繰越金		64,325,643	65,455,409	1,129,766		
次期繰越金		64,286,411	65,142,790	856,379		

0

積立金予算

単位：円

項目		前年度予算額	本年度予算案	増減	備考	
特別修繕積立金	収入	一般会計から繰り入れ	240,000	240,000	0	
		利息等	0	0	0	
	支出	桜木巡回管理	100,000	100,000	0	
					0	
	収支差額		140,000	140,000	0	
前期繰越金		1,698,075	1,871,430	173,355		
次期繰越金		1,838,075	2,011,430	173,355		
周年行事積立金	収入	一般会計から繰り入れ	300,000	300,000	0	
		利息等	0	0	0	
	活動支出	0	1,600,000	1,600,000	創立110周年	
	収支差額		300,000	▲ 1,300,000	▲ 1,600,000	
	前期繰越金		2,407,352	2,707,375	300,023	
次期繰越金		2,707,352	1,407,375	▲ 1,299,977		
積立金計	収入	一般会計から繰り入れ	540,000	540,000	0	
		利息等	0	0	0	
	活動支出	100,000	1,700,000	1,600,000		
	収支差額		440,000	▲ 1,160,000	▲ 1,600,000	
	前期繰越金		4,105,427	4,578,805	473,378	
次期繰越金		4,545,427	3,418,805	▲ 1,126,622		

委員会会計予算

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考	
翠嵐会美術展	一般会計から繰り入れ	100,000	200,000	100,000	
	活動収入	370,000	370,000	0	
	活動支出	540,000	540,000	0	
	収支差額	▲ 70,000	30,000	100,000	
	前期繰越金	295,916	227,456	▲ 68,460	
	次期繰越金	225,916	257,456	31,540	
校歌祭	一般会計から繰り入れ	120,000	120,000	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	120,000	120,000	0	
	収支差額	0	0	0	
	前期繰越金	230,708	260,330	29,622	
	次期繰越金	230,708	260,330	29,622	
翠嵐会音楽会	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前期繰越金	759,816	759,822	6	
	次期繰越金	759,816	759,822	6	
音フエス	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	0	0	0	
	収支差額	0	0	0	
	前期繰越金	396,744	396,746	2	
	次期繰越金	396,744	396,746	2	
コミュニケーション	一般会計から繰り入れ	800,000	400,000	▲ 400,000	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	800,000	600,000	△ 200,000	
	収支差額	0	▲ 200,000	▲ 200,000	
	前期繰越金	430,439	700,604	270,165	
	次期繰越金	430,439	500,604	70,165	
アーカイブ整備	一般会計から繰り入れ	0	0	0	
	活動収入	0	0	0	
	活動支出	100,000	100,000	0	
	収支差額	▲ 100,000	▲ 100,000	0	
	前期繰越金	942,991	942,999	8	
	次期繰越金	842,991	842,999	8	
委員会計	一般会計から繰り入れ	1,020,000	720,000	▲ 300,000	
	活動収入	370,000	370,000	0	
	活動支出	1,560,000	1,360,000	△ 200,000	
	収支差額	▲ 170,000	▲ 270,000	▲ 100,000	
	前期繰越金	3,056,614	3,287,957	231,343	
	次期繰越金	2,886,614	3,017,957	131,343	

活動収入には利子を含みます

翠嵐支援基金予算

単位：円

項 目		前年度予算額	本年度予算案	増 減	備 考	
収 入	個人寄付金	1,200,000	1,200,000	0	記念誌、CD収入を含む	
	その他	0	0	0		
	利息等	0	0	0		
	収入合計	1,200,000	1,200,000	0		
支 出	奨 励 費	文化祭	0	0	0	
		体育祭	0	0	0	
		新聞委員会補助	0	0	0	
		国際交流補助	300,000	300,000	0	
		対外活動費補助	100,000	100,000	0	
		その他卒業祝、横断幕等	200,000	200,000	0	クリアファイル・証書入れ
		校内樹木のプレート作成	0	360,000	360,000	
	運 営 費	振込手数料等	30,000	30,000	0	
			0		0	
			0		0	
支出合計	630,000	990,000	360,000			
当期収支差額		570,000	210,000	▲ 360,000		
前期繰越金		10,941,266	12,636,453	1,695,187		
次期繰越金		11,511,266	12,846,453	1,335,187		

次期繰越金予算

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算案	増 減	備 考
一般会計	64,286,411	65,142,790	856,379	
委員会会計	2,886,614	3,017,957	131,343	
積立金	4,545,427	3,418,805	▲ 1,126,622	
翠嵐支援基金	11,511,266	12,846,453	1,335,187	
合 計	83,229,718	84,426,005	1,196,287	

＜執行部の体制紹介＞

※執行部とは翠嵐会の日々の運営を迅速に行うため、随時会長が召集するメンバーであり、常任役員、委員会委員長、事務局、事務局補助スタッフで構成する。

令和6年度翠嵐会執行部体制執行部体制

会長	江成 正彦 (高 29 回)
副会長	馬場 洋一 (高 20 回) 山本 陽史 (高 29 回) 小山田 一弥 (高 29 回) 梅田 比奈子 (高 32 回) 飯塚 幸子 (高 40 回)
会計	坂本 千津子 (高 35 回) 望月 篤史 (高 54 回)
会計監査	青木 健 (高 26 回) 山田 高章 (高 37 回)

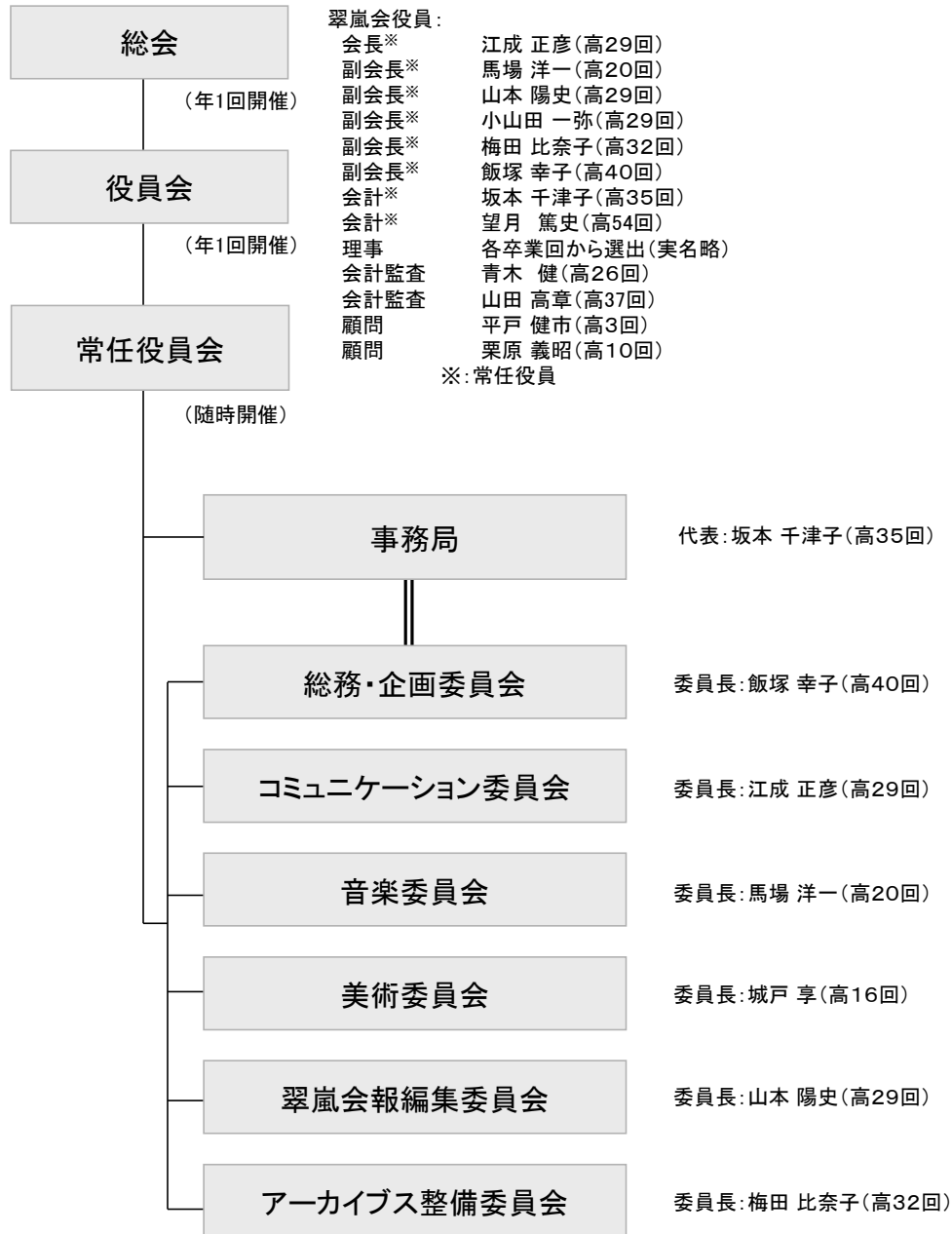
音楽委員会 校歌祭実行委員会 音フェス 109 実行委員会	委員長 実行委員長 実行委員長	馬場 洋一 (高 20 回) 兼 馬場 洋一 (高 20 回) 兼 未定
美術委員会	委員長	城戸 享 (高 16 回)
翠嵐会報編集委員会	委員長	山本 陽史 (高 29 回) 兼
総務・企画委員会	委員長	飯塚 幸子 (高 40 回) 兼
コミュニケーション委員会	委員長	江成 正彦 (高 29 回) 兼
アーカイブス整備委員会	委員長	梅田 比奈子 (高 32 回) 兼

事務局	代表	坂本 千津子 (高 35 回) 兼
校内幹事		佐藤 恵子 (高 23 回) 末包 博 (高 40) 望月 篤史 (高 54 回)
事務局補助スタッフ		野沢 恵理子 (高 29 回)

翠嵐会 組織図

翠嵐会 組織図

令和5年5月20日



神奈川県立横浜翠嵐高等学校同窓会 翠嵐会

事務局: 〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町 1-1 横浜翠嵐高等学校内

公式ホームページ :<https://suirankai.jp/>

お問合せは公式ホームページの「ご連絡・お問合せ」ページから